

～生きるための「正しい判断力」を身につけるには～

昔から、高校受験、大学受験において、国・数・英は主要教科として扱われています。社会生活を営むうえでよりよく生きていくためには、情報を的確に得ることが重要であり、そのためには、読解力、表現力、データ分析力、外国語から情報を得る能力などが必要です。これらのことは、国・数・英で学ぶことが根幹にあるように思えます。したがって、国・数・英が主要教科であり、よりよく生きるためにこれらを学ぶことに意味があるのです。また、情報収集能力は皆さんの学力とも深い関係があるように思えます。普段の学習においても、適切な情報収集をすることで効果的に学力を高めることは可能です。これ以外に必要なものは意欲的態度に他なりません。皆さんは進学希望、就職希望を問わず、最低限、高校程度の教養を十分に身につけるべきです。高校教育を疎かにする理由として、役に立つか立たないかの理由で判断するのはナンセンスです。今後、生きていくための思考力・判断力を高めるための土壌をつくるのが高校教育です。授業を疎かにすると、視野の狭い価値観で物事を判断したり、怪しげなものを怪しいと見抜けない人物になりかねないことを肝に銘じるべきです。

～先生方を有効活用するべきです～

積極的な授業への取組は、進路選択の幅を広げ、人間性の成長を促すことは明白です。個々の置かれている環境を冷静に見つめ直し、よりよく生きるためには、自分は今何をすべきかを真剣に考えてほしいと思います。「文化の体系」から自分の興味・関心に合わせ、学びたいと思う気持ちが生まれれば、あなたの将来は確実に良い方向へと変われると思います。本校には「文化の体系」を背景を持ったベテランの先生方がいます。先生方を有効に活用することで、あなたを効率的に良い方向へと変えられると確信します。

～夏季休業は自分の能力向上を目指す時間です～

夏季休業は自分の能力を向上させるために、思考力と判断力を磨く時間にすべきです。学力向上に向けた学習への取組はもとより、進学を考えている人は、大学・専門学校のオープンキャンパスに出かけ進路について判断できるための正しい情報を得ることも重要です。オープンキャンパスは3年生のみならず、1・2年生の参加を大歓迎している学校がほとんどですから、ぜひ、気になる学校のHPから詳細を調べ、積極的に参加してください。